

平成 20 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 三 菱 マ テ リ ア ル 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 井 手 明 彦
(コード番号 5711 東・大証第 1 部)
問 合 せ 先 広 報 ・ I R 室 副 室 長 鈴 木 徹
(T E L 03-5252-5206)

超硬工具の製造・販売体制の強化について

当社は、4 コア事業の一つである加工事業部門の成長ドライバーである超硬工具事業の更なる強化・拡大のため、総額約 1 3 3 億円を投じ、平成 2 1 年度内の達成を目処に主力製品である超硬切削工具インサート（刃先交換チップ）の製造能力を増強することをはじめ、主原料であるタングステンの生産体制強化、顧客サービス体制の拡充など製造・販売体制を強化することと致しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 当社超硬工具事業の概要

当社の超硬工具の主たる向け先は、自動車等の成長産業が過半を占めておりますが、中でも切削工具インサート（刃先交換チップ、以下「インサート」）は、過去 5 年間で年率二桁の成長を遂げており、今後も B R I C s をはじめとする新興国向けを中心に堅調な成長が見込まれております。また、国内においても航空機部材加工用の工具など新たな市場が拡大しつつあり、これら需要の増加に対応し、グローバル市場で高品質な工具を提供、顧客ニーズに対応していくことが、本事業の更なる強化・拡大のために必要不可欠であります。

加えて、当社は、国内唯一のタングステン製錬メーカーである日本新金属株式会社（本社：大阪府豊中市）を連結子会社に有していることから、タングステン鉱石のみならず、使用済み超硬工具を原料として処理することが可能であるなど、超硬工具の原料となるタングステンの調達において他社より優位にあるほか、原料から製品まで一貫した開発体制がある強みを有しております。

更に、成長著しい新興市場を含む世界 6 0 ヶ国以上に製造・販売拠点を有し、平成 1 8 年度には、超硬工具の海外への売上比率は約 5 0 % を超え、グローバル市場での確固たる地位を占めつつあります。

当社は、この超硬工具事業を成長ドライバーと位置づけ、「タングステン等の原料から手掛けしている強みを活かし、グローバル展開の積極拡大により、超硬工具製品の販売拡大を図る」ことを加工事業部門の事業方針としております。

2. 今次事業強化の概要

当社は、今般、超硬工具事業における川上から川下分野へ下記の投資を実行することにより、当社の強みを更に強化し、収益力の強化を図ることと致しました。

(1) インサート製造部門の強化

グローバル規模の旺盛な需要に対応するため、約100億円を投じて、インサートの主力製造拠点である筑波製作所（茨城県常総市）敷地内に新たに工場棟を建設し、特に工具の長寿命化につながるとして市場から高い評価を得ている薄膜コーティング・インサートを中心に生産能力を段階的に引き上げてまいります。

これにより、インサート生産能力を現中期経営計画で進めている増産計画を拡大し、約40%増強（対平成18年度比）するとともに、新工場の生産ラインでは自動化・省人化を徹底しリードタイムを同比約60%短縮するほか、最先端の生産技術を導入するなど、製品の更なる高品質化に取り組んでまいります。

(2) 原料部門の強化

インサートの主原料を製造する日本新金属(株)においても、約25億円を投じ、同社秋田工場（秋田県秋田市）敷地内にタングステン粉末工場を新設し、生産能力を15%増強（対平成18年度比）することにより、インサート生産能力増強に伴う原料供給増に対応致します。この増強投資により、鉬石・スクラップからタングステンカーバイド原料までの一貫生産ラインが構築されることとなり、世界的に原料供給事情が逼迫する中、超硬工具のリサイクルを通じて、安定的な原料確保に取り組んでまいります。

(3) 販売体制の強化

平成21年度までに、全世界で営業要員を約30%増員（対平成18年度比）する一方で、約8億円を投じ、平成21年度内に加工技術のシンクタンクの機能を併せ持つ「加工技術センター」を国内に設置し、これら国内外の営業要員のスキルアップ、海外拠点の技術者育成、更には顧客サービスの一環として技術サービス・ツーリング提案を積極的に行うことができる販売体制の強化に向けた活動拠点として機能させてまいります。

今回の一連の増強投資により、日本・米国・欧州はもとより、成長著しい新興地域等で世界的に伸長するインサート需要に対応してまいります。今後も、グローバル市場に高品質な工具を安定して提供するため、日本を中心に全世界規模で、技術開発、原料調達、製造、販売、技術サービス等の各体制を更に強化するなど、積極的な取り組みを進めてまいります。

3. 今後の経営方針

当社は、現中期経営計画「Break-through（ブレイクスルー）1000 ～1000 億円企業を目指して～」において4コア事業を中心とした「四輪駆動経営」を標榜しており、このうち加工事業部門は、「世界の自動車、航空機、情報産業のバリューサプライヤーとなる」ことを志向しておりますが、今回の大型投資は、先にセメント事業関連で発表いたしました米国セメント事業強化のための出資に続くもので、加工事業部門の収益強化策と位置付けております。

当社は、各事業が強力な推進力を発揮しつつも、市況変動のサイクルが異なることにより、全社業績の安定化を図ることが可能となる四輪駆動経営の実現に向け、引き続き4コア事業の事業基盤の強固に取り組んでまいります。

なお、財務面については、当面の当社連結デットエクイティレシオは足許実績レベルを上回らないことと致します。

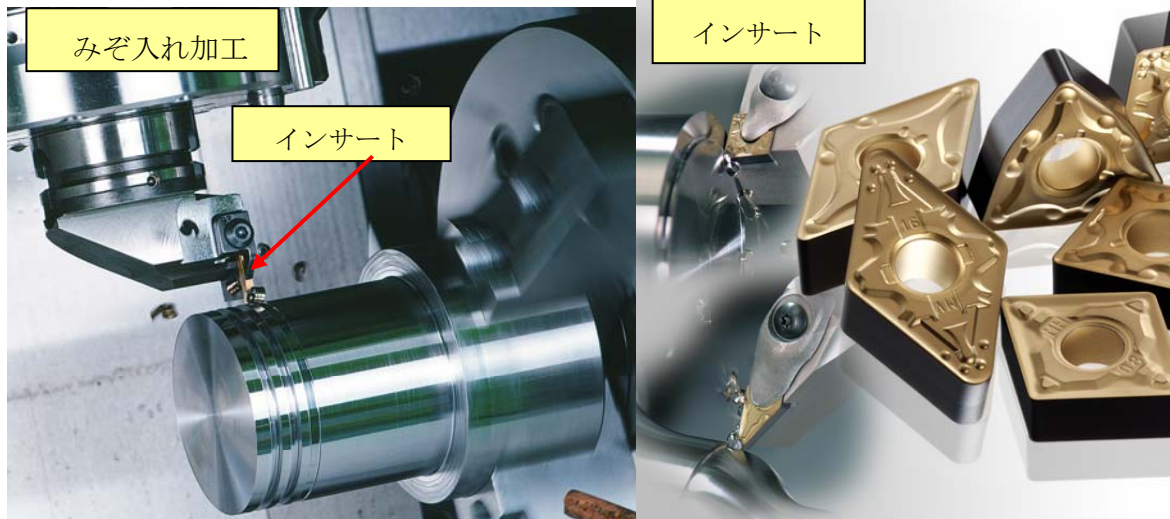
以 上

(ご参考)

1. 用語説明

1) 超硬工具：WC（炭化タングステン）をCo（コバルト）で結合した超合金からなる工具。

2) 切削工具インサート（刃先交換チップ）：刃先交換式工具本体に装着する超合金製の刃先



2. 超硬工具事業の世界展開図

